

**海外邦人安全対策情報（平成30年1月－3月）**  
**（在ニュージーランド大使館管轄地域）**

**1 ニュージーランド(NZ)国内全体の治安情勢**

**(1) 一般治安関係**

NZ国内では、これまで大きな治安上の問題は起きていません。

しかし、NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しているため、争いに巻き込まれることのないよう、繁華街等では特に注意してください。このほかNZ国内での覚醒剤の押収量が前年比3倍増となるなど、薬物汚染が社会問題化していますので、留意してください。NZ政府は、約1,800名の警察職員増員を公約に掲げており、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

**(2) テロ関係**

現在のところ、NZ国内でのテロリストの目立った活動は確認されていませんが、国内には30から40名程度のテロ関係の監視対象者がいると言われています。

また、昨年、シリアに渡ったNZ人男性がテロ組織ISILの一員として戦闘行為に参加していることが明らかとなり、米政府によって特別指定国際テロリストに指定されました。今後とも、NZ国内におけるテロの発生には十分注意する必要があります。

**2 犯罪の傾向**

**(1) 犯罪の発生状況**

2017年1年間のNZ国内における主要犯罪の発生件数は、強盗(Aggravated Robbery)が3,235件(対前年比44件増)、住居侵入と侵入窃盗(Unlawful Entry with Intent/Burglary, Break and Enter)が62,196件(対前年比2,996件減)、性犯罪(Sexual Assault)が5,351件(対前年比212件増)となっています。このうち侵入窃盗関係については、NZ警察の施策が功を奏し減少しているものの、いまだ高水準で発生しています。また強盗については、NZでの人口1万人当たりの発生率は日本と比べ約46倍に上り、また発生件数も増加していることから、十分な注意が必要です。中でも最近、若者によるタバコ等を狙った強盗事件の発生が増加していますので、コンビニエンスストアやガソリンスタンドを利用する際には、事件に巻き込まれないよう注意するとともに、事件に遭遇した場合には、抵抗することなく、犯人が金品を要求する場合には、これに応じてください。生命より大切なものではありません。

**(2) 注意すべき犯罪と対策**

何事においても、被害に遭わないためには、警戒心を持ち、周囲の変化に気を配ることが大切です。日常生活において、心配のあまり過剰に反応し過ぎる必要はありませんが、いざというときのため、普段の生活の中で、こういう事件が起こったときはこうしてみよう等、一度考えておくと、実際の事件に遭遇したとき、パニックに陥らずに対処できる可能性が高まるので、お勧めします。

**ア 窃盗**

特に侵入窃盗(空き巣など)、車上狙いや置引きに注意してください。

防犯のため、自宅等に防犯用感センサーや防犯カメラを設置する、貴重品やバッグを置いたまま席や車から離れないなど、日頃から自身の意識を高めてください。

また、貴重品のシリアル番号等を控えておくなど、被害に遭った際の対策も御検討ください。

#### イ 性犯罪

夜間はもちろん、昼間や夕暮れでも、人通りの少ない場所でのひとり歩きは避けましょう。自分の身は自分で守るという強い意識を持って行動することが大切です。どうしても暗い道を歩かなくてはならないときは、あらかじめ携帯電話に「111」を入力しておき、発信ボタンを押すだけの状態にしておくことも対策の一つです。

#### ウ 暴行・傷害

普段は温厚なNZ人ですが、繁華街では飲酒がらみの暴行・傷害事件が多発しています。深夜の繁華街などでは、同種の犯罪に巻き込まれないよう十分注意してください。泥酔して気が荒くなっている人を見かけたときには、相手をジロジロと見ないよう気を付けながらも、その人に不意を突かれないように留意してください。

#### エ 薬物犯罪

NZでも覚醒剤（メタンフェタミン）の乱用が社会問題になっています。繁華街の路上や深夜のバー、ナイトクラブ等で知らない人に声を掛けられても、絶対に薬物に手を出さないでください。犯罪組織などの収入源にもなっているため、NZ警察は薬物犯罪を厳しく取り締まっています。

### (3) 在ニュージーランド大使館管轄地域における最近の主な犯罪

ア 1月23日午後3時頃、パーマストン・ノースの路上において、男が拳銃のようなもので男性を脅し現金と携帯電話を強奪して逃走する強盗事件が発生した。その後、警察が、犯人（21歳の男）を逮捕。所持していた拳銃のようなものは空気銃であった。パーマストン・ノースでは、同月30日深夜にも、2人組の強盗がガソリンスタンドに押し入り現金を強奪している。

イ 2月16日時頃、インバーカーギルの路上で、男2人組が男性を刺し、そのまま逃走する殺人未遂事件が発生した。犯人の2人（16歳と27歳の男）は後日逮捕。

ウ 3月4日夜10時過ぎ、ホークス・ベイにあるパブの店外に男性が倒れているのが発見され、後刻死亡した。警察は殺人事件として捜査中。犯人は未検挙。

エ 3月7日午後時頃、ワイヌイオマタの民家で男性の射殺体が発見された。警察は殺人事件として捜査中。犯人は未検挙。

オ 3月9日午後8時頃、ニュープリマスの路上において、車に乗っていた72歳の女性と48歳の娘が、4人組に車から引きずり降ろされ、犯人は車を奪って逃走した。犯人の4人（17、18歳の男及び15、20歳の女）は後日逮捕。

### (4) 日本人が巻き込まれた事件・事故

客年12月26日、クイーンズタウンからマウント・クックに向けてレンタカーを運転中の邦人が、旅の疲れから居眠り運転を行い、反対車線を走行してきた車と衝突する事故を起こした。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

## 4 誘拐事件発生状況

2月10日朝9時頃、ネイピアで誘拐事件が発生した。被害男性は救助されたが重傷。犯人の男3人は間もなく逮捕された。

## 5 日本企業の安全に関する諸問題 特に認知されていません。

※ 在オークランド総領事館，在クライストチャーチ領事事務所のホームページにも各地域の情報が掲載されています。